

住むなら北九州 定住・移住推進事業 定住・移住促進支援メニュー
補助金交付対象者認定申請書類等チェックシート

申請者氏名	北九 太郎
-------	-------

申請者記入欄: 該当する場合は「レ」印、該当しない場合は「/」印をご記入ください。

提出書類(A4サイズにまとめて、1部提出してください。)		申請者 記入欄	市 記入欄
●	① 住むなら北九州 定住・移住推進事業 定住・移住促進支援メニュー 補助金交付対象者認定申請書類等チェックシート【本シート】	レ	
●	② 住むなら北九州 定住・移住推進事業 定住・移住促進支援メニュー 補助要件チェックリスト ⇒補助要件に適合しているか確認してください。	レ	
●	③ 住むなら北九州 定住・移住推進事業 定住・移住促進支援メニュー 補助金交付対象者認定申請書【様式第19号】 ⇒申請年月日は、各募集回に設定されている募集期間内の日付としてください。 ⇒認定申請の事前登録を行っている場合は、事前登録日を認定申請日としてください。	レ	
●	④ 世帯全員の住民票(本籍の記載のないもの、続柄・世帯主欄は省略不可、コピー不可) ⇒転入又は転居前の居住地のものを提出してください。	レ	
△	⑤ 前住所地の世帯全員の住民票の除票等(コピー不可) ⇒本市以外の自治体に居住して1年未満又は本市に転入して2年以内の方は、1年以上 継続して市外に居住している(いた)ことが確認できる書類を提出してください。 例)住民票の除票、戸籍の附票 等	/	
△	⑥ 母子手帳の写し ⇒申請区分(※5)が「2人以上世帯」(現在、市外居住の方)又は「39歳以下で市外勤 務」で、子どもが胎児の場合は提出してください。	レ	
△	⑦ 婚約証明書【様式第5号】 ⇒申請区分が「2人以上の世帯」又は「39歳以下で市外勤務」で、婚姻により世帯人員2 人以上となる場合は提出してください。	/	
△	⑧ 市外に勤務していることを証する書類 ⇒申請区分が「39歳以下で市外勤務」の場合は提出してください。 例)勤務地が確認できる雇用証明書(夫婦どちらかで可) 等	レ	
●	⑨ 転入又は転居予定先の住宅の所在地(地名地番)、敷地面積(戸建ての場合)、部屋番 号・住戸面積(マンションの場合)、建築年月日(着工年月日)が確認できる書類 ⇒募集広告のチラシやインターネットの物件情報等を印刷して提出してください。 ⇒中古住宅の場合は、耐震基準を満たすことが必要です。補助金交付申請(手続2)で、 確認できる書類の提出が必要となります。	レ	
△	⑩ 住むなら北九州 定住・移住推進事業に係る確認書 ⇒申請区分が「50歳未満で同居近居」又は「50歳以上で自己実現」の場合は提出してく ださい。	/	
△	⑪ 住むなら北九州 定住・移住推進事業 定住・移住促進支援メニュー 補助金交付対象者認定申請 事前登録書の写し ⇒認定申請の事前登録を行っている場合は提出してください。本市の電子申請システム (ネット申請)で事前登録を行っている場合は必要ありません。	レ	

※1 認定申請は、住宅の建設又は購入の契約締結前に行ってください。

※2 国や地方自治体が行う本制度と同様の目的の補助制度との併用はできません。

※3 提出書類が揃っていないと、申請を受け付けることができませんので、ご注意ください。

※4 提出書類の●印は必須、△印は該当する場合に提出してください。

※5 申請区分とは、③補助金交付対象者認定申請書【様式第19号】の「申請区分」を指します。

住むなら北九州 定住・移住推進事業 定住・移住促進支援メニュー
補助要件チェックリスト

申請者 氏名 北九 太郎

1 対象者について

【個別項目】①～④のいずれかに☑

●市外から移住			●市内に定住
1年以上継続して市外に居住している方、又は市内に転入後2年以内の方で転入前1年以上継続して市外に居住していた方で、①～③のいずれかに該当する方。			夫婦共又は夫婦どちらかが、市内に居住しかつ市外へ勤務している方。
①世帯人員2人以上の世帯 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/>	②申請者が50歳未満で親と同居又は近居のために転入する1人世帯 同居⇒ <input type="checkbox"/> 近居⇒ <input type="checkbox"/>	③申請者が50歳以上で自己実現のために転入する1人世帯 ⇒ <input type="checkbox"/>	④申請者が39歳以下の世帯人員2人以上の世帯 ⇒ <input type="checkbox"/>
<p>↳同居近居割増</p> <p>①に該当する方で、次の要件を全て満たす場合のみ、いずれかに☑</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請者が39歳以下で、市内に居住する親と同居又は近居 【同居近居】の募集枠で認定申請 <p>※募集枠が無い場合は対象となりません。 同居⇒<input type="checkbox"/> 近居⇒<input type="checkbox"/></p>			

【共通項目】該当する場合☑

次の全ての要件に該当する。 ⇒

※1つでも該当しない項目がある場合、本事業の対象となりません。

- 自らが居住するため、住宅の建設又は購入を行う。
- 転入又は転居後、原則2年以上市内に居住することができる。
- 北九州市における市税の滞納がない。
- 暴力団又は暴力団員ではない、暴力団又は暴力団員と密接な関係はない。

「同居近居」の募集枠がある場合のみ、チェック可能です。

2 対象住宅について

【住宅の所在】該当する場合☑

街なかの区域（要領参照）に所在し、次の全ての区域外に所在する住宅である。 ⇒

※街なかの区域でも、次の区域内の場合、本事業の対象となりません。

・市街化調整区域 ・工業専用地域 ・土砂災害特別警戒区域 ・土砂災害警戒区域

【住宅の規模】いずれかに☑

●戸建て住宅 敷地面積が130㎡以上
(第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域は180㎡以上) ⇒

●マンション 住戸専用面積が50㎡以上 ⇒

【良質な住宅】該当するものに☑

●新築 次のア～エのいずれかに該当する住宅

ア 住宅性能表示制度による建設住宅性能評価書の交付を受け、一定の等級を満たしているもの ⇒ <input type="checkbox"/>	イ 【フラット35】Sの技術基準に適合し適合証明書の交付を受けている住宅 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/>	ウ 建築物総合環境性能評価システム(CASBEE)による評価結果が「B+(よい)」以上である住宅 ⇒ <input type="checkbox"/>	エ 長期優良住宅認定制度による長期優良住宅認定通知書の交付を受けている住宅 ⇒ <input type="checkbox"/>
---	---	--	---

●既に建築された住宅（中古住宅） 次のオを満たし、かつア～エ又はカを満たす住宅

オ 昭和56年6月1日以降に着工したものが、建築物の耐震改修の促進に関する法律（平成7年10月27日法律第123号）に則り耐震診断を実施し、新耐震基準を満たすもの、又は新耐震基準を満たさない場合、耐震改修工事を施し、新耐震基準を満たす住宅 ⇒

カ インспекション（住宅診断）を実施している住宅 ※実施予定でも可。 ⇒

補助要件に該当する住宅であるか、民間住宅事業者や仲介を行う不動産事業者等に必ず確認するようにしてください。

【住むなら北九州 定住・移住推進事業 定住・移住促進支援
様式第19号（第27条関係）

申請年月日は、各募集回に設定されている募集期間内の日付としてください。

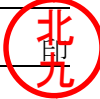
令和〇〇年〇〇月〇〇日

北九州市長 様

転入又は転居前の申請者の住所、氏名、電話番号を記入してください。

日中つながりやすい電話番号を記入してください。

申請者 (〒〇〇〇-〇〇〇〇)
 住所 〇〇県〇〇市××〇丁目〇番〇号
 氏名 北九 太郎
 電話番号 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇



住むなら北九州 定住・移住推進事業 定住・移住促進支援メニュー補助金交付対象者認定申請書

住むなら北九州 定住・移住推進事業 定住・移住促進支援メニュー補助金の申請を予定
 ので、住むなら北九州 定住・移住推進事業補助金交付要綱（以下「要綱」という。）第27条第1項
 の規定により、下記のとおり申請をします。なお、この申請書の記載事項について、事実と相違ないこと
 と及び申請資格を満たすことを誓約するとともに、資格確認のため必要な官公庁への照会を行うこと
 について承諾します。

シャチハタ
印は不可。

また、要綱第32条に規定する認定の取り消し事由に該当した場合、又は要綱第28条第1項に基づ
 く補助金の交付申請をした際に申請資格を満たしていないことが発覚した場合は、認定を取り消されて
 も異議を申しません。

記

(フリガナ)	キキョウ タロウ	性別	男・女	生年 月日	S・H 〇〇年〇〇月〇〇日
申請者氏名	北九 太郎				
申請者について	申請区分 (該当番号に〇印)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 世帯人員2人以上の世帯 (2人) 「同居近居」の募集枠がある場合のみ、チェック可能です。 <input type="checkbox"/> 2 申請者が50歳未満で親と同居又は近居のために転入する世帯人員1人の世帯 (50歳未満で同居近居) <input type="checkbox"/> 3 申請者が50歳以上で自己実現のために転入する世帯人員1人の世帯 (50歳以上で自己実現) <input type="checkbox"/> 4 申請者が39歳以下の世帯人員2人以上の世帯 (39歳以下で市外勤務) ※夫婦共又は夫婦どちらかが、市内に居住しかつ市外へ勤務			
	現在の勤務先	勤務先名：〇〇株式会社 【所在地：〇〇県〇〇市××〇丁目〇番〇号】			
	現在の住まい (該当番号に〇印)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 民間賃貸住宅 2 親族の家に同居 3 社宅・社員寮 <input type="checkbox"/> 4 特定優良賃貸住宅 5 公営・公社・都市機構住宅 <input type="checkbox"/> 6 持ち家 7 その他 ()			
	市外居住年数	〇 年 〇 ヶ月 ※申請区分が1～3の場合に記入			
対象となる世帯人員数	〇 人 ※申請区分が1で現在市外居住の場合、又は申請区分が4の場合は胎児も対象				
転入又は転居予定先の住宅について	転入又は転居予定先の良質な住宅 (該当番号に〇印)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 新築 2 既に建築された住宅 (中古住宅) <input type="checkbox"/> 1 戸建て <input checked="" type="checkbox"/> 2 共同住宅 <input type="checkbox"/> 1 建設住宅性能評価書の交付を受けている住宅 <input checked="" type="checkbox"/> 2 【フラット35】Sの適合証明書の交付を受けている住宅 <input type="checkbox"/> 3 建築物総合環境性能評価システム (CASBEE) による評価結果が「B+ (よい)」以上である住宅 <input type="checkbox"/> 4 長期優良住宅認定通知書の交付を受けている住宅 <input type="checkbox"/> 5 インスペクション (住宅診断) を実施			
	※街なかに所在するもの				
	転入又は転居予定先の住宅の所在地 (地名地番)	北九州市 小倉北 区城内〇番〇 【共同住宅の名称・部屋番号：〇〇〇レジデンス小倉 〇〇〇号】			
	親世帯の住宅の所在地	北九州市 区 ※申請区分が1又は2で「近居」の場合に記入			
	転入又は転居予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日			

住居表示ではなく地名地番で記入してください。

【住むなら北九州 定住・移住推進事業】
様式第5号（第7条・第27条関係）

認定申請をする日の日付を記入してください。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

北九州市長 様

申請者氏名 _____

認定申請日から3ヶ月以内の日付を記入してください。

転入前の申請者（婚約者）の住所を記入してください。

婚約証明書

私たちは、現在婚約中であり、令和△△年△△月△△日までに婚姻届けを提出し、夫婦となること及び婚姻後は直ちに戸籍抄本を提出することを誓約します。

夫になる人

住 所 北九州市小倉北区内〇-〇
氏 名 北九 太郎
生年月日 昭和〇〇年〇〇月〇〇日

認定申請書で使用した印鑑を押してください。（シャチハタ印は不可です）。

同じ日付を記入してください。

妻になる人

住 所 北九州市小倉北区内〇-〇
氏 名 東京 花子
生年月日 昭和〇〇年〇〇月〇〇日

シャチハタ印は不可です。

本人が自署してください。

上記両名は、現在婚約中であり、令和△△年△△月△△日までに婚姻することを証明する。

令和 年 月 日

証明者

住 所 北九州市小倉北区内〇-〇
氏 名 福岡 次郎
続柄（申請者との関係） 会社の上司

シャチハタ印は不可です。

【記載上の注意】

- 必ず、本人が自筆で署名・押印をして下さい。この証明書が虚偽であるときは、申請を無効とする場合があります。
- 証明者は、両親又は20歳以上の親族若しくは知人等としてください。

